

取引先情報ファイル登録 チェック仕様

➤ 取引先情報のファイル登録のチェック仕様について記載する。なお、各項目の詳細については表 付録 - 4 に記載する。

1. チェック順序

表 付録 - 4 の項目順に従い、チェックを行う。

(1) 表 付録 - 4 中のチェック対象が「ファイル全体」の場合

エラーとなった場合は、チェック処理を打ち切り、ファイル全体をエラーとして扱う。

(2) 表 付録 - 4 中のチェック対象が上記(1)以外の場合

エラーとなった場合も、当該レコードのチェックを継続する。()

ただし、1レコードあたり2件のエラーを発見した場合は、当該レコードのチェックを中断し、次レコードのチェックに進む。

2. ファイル登録に利用しない項目の取り扱い

各ファイルについて、表 付録 - 4 に記載の項目のみ、チェック対象とする。記載が無い項目については、チェック対象外とするため、不正な値が設定されても、読み飛ばすこととする。

3. 基本事項

取引先情報のファイル登録にかかる基本事項を、表 付録 - 3 に示す。

表 付録 - 3 取引先情報のファイル登録にかかる基本事項

項番	チェック対象 (概要)	チェックがNGとなった場 合のエラー種別 (登録状況)	エラーを確認する 画面	取引先情報登録結果 ファイルの還元有無	取引先情報の 登録有無	備考
1	ファイル全体に かかるチェック 条件	ファイル全体エラー	取引先情報ファイル 登録結果一覧	無し	登録しない	ファイルの再登録が必要となる。
2	各レコードにか かるチェック条 件	エラー	取引先情報ファイル 登録結果詳細	有り (注1)	登録しない	エラーとなった取引先情報は、ファ イル等による再登録が必要となる。
3		正常(ワーニング有)	取引先情報ファイル 登録結果詳細	有り (注1)	登録する	正常(ワーニング有)となった取引 先情報は、登録済みであるため、 ワーニング内容の修正が必要とな る。
4		口座未確認	取引先情報ファイル 登録結果詳細	有り (注1)	登録しない	取引先情報ファイル登録結果詳細 画面より、口座存在確認の実施が 必要となる。

(注1) エラーもしくはワーニング有となった場合、表 付録 - 4 中のエラーコードに基づき、エラーコードならびにエラー内容を、「取引先情報登録結果ファ
イル」のエラーコード1、エラー情報1、エラーコード2、エラー情報2に設定する。

表 付録 - 4 取引先情報のファイル登録のチェック仕様詳細 (1/3)

【チェック要否欄の例】	
:チェックする	
x :チェックしない	

項目番号	チェック対象	チェック条件	チェックがNGとなった場合のエラー種別(登録状況)	エラーコード	アップロードファイル形式毎のチェック要否			取引先の金融機関ならびに登録状況に応じたチェック要否		
					集信1形式	総合振込形式	CSV形式	自行	他行	
									同一の取引先情報の登録有り	同一の取引先情報の登録無し
1	ファイル全体	ファイル内にデータが存在すること。	ファイル全体エラー	CCOM3924Le						
2		レコード長が規定のバイトであること。	ファイル全体エラー	CCOM3920Le			x			
3		規定のCSV形式であること。	ファイル全体エラー	CCOM3921Le	x	x		(注1)		
4		ファイルの先頭がヘッダレコードであること。	ファイル全体エラー	CCOM3923Le			x			
5		エンドレコードが存在すること。	ファイル全体エラー	CCOM3923Le			x			
6		ヘッダレコードの場合、先頭にあるか、前のレコードがトレーラレコードであること。	ファイル全体エラー	CCOM3922Le			x			
7		データレコードの場合、前のレコードがヘッダレコードかデータレコードであること。	ファイル全体エラー	CCOM3922Le			x			
8		トレーラレコードの場合、前のレコードがデータレコードであること。	ファイル全体エラー	CCOM3922Le			x			
9		エンドレコードの場合、前のレコードがトレーラレコードであること。	ファイル全体エラー	CCOM3922Le			x			
10		トレーラレコード以降に後続のレコードが存在する場合は、項目6~項目10のチェックを繰り返す。	-	-			x			
11		項目3~10のチェックにエラーがない場合、データレコードの件数が20,000件以内であること。(注2)	ファイル全体エラー	CCOM1556Se						
12	ヘッダコード	種別コード	種別コードが指定されていること。	ファイル全体エラー	RCOM1028Le			x		
13			種別コードが半角数字であること。	ファイル全体エラー	RCOM1027Le			x		
14			種別コードが発生記録請求(債務者請求方式)“11”または発生記録請求(債権者請求方式)“12”または譲渡記録請求“20”または分割記録請求“30”的いずれかであること。	ファイル全体エラー	RCOM1027Le		x	x		
15			種別コードが“21”総合振込となっていること。	ファイル全体エラー	RCOM1027Le	x		x		
16		文字コード区分 (注3)	文字コード区分が指定されていること。	ファイル全体エラー	RCOM1028Le			x		
17			文字コード区分が半角数字であること。	ファイル全体エラー	RCOM1027Le			x		
18			文字コード区分がJIS“0”またはEBCDIC“1”であること。	ファイル全体エラー	RCOM1027Le			x (注4)		

表 付録 - 4 取引先情報のファイル登録のチェック仕様詳細 (2/3)

項目番号	チェック対象	チェック条件	チェックがNGとなった場合のエラー種別(登録状況)	エラーコード	アップロードファイル形式毎のチェック要否			取引先の金融機関ならびに登録状況に応じたチェック要否		
					集信1形式	総合振込形式	CSV形式	自行	他行	同一の取引先情報の登録有り
19	データ区分	データ区分	データ区分が指定されていること。	エラー	RCOM1028Le	×	×			
20			データ区分が1桁かつ半角数字であること。	エラー	RCOM1027Le	×	×			
21			データ区分が“1”であること。	エラー	RCOM1027Le	×	×			
22		集信1形式	総合振込形式	CSV形式	-	-	-	-	-	
23		利用者番号	利用者番号	取引相手情報の利用者番号が指定されていること。	エラー	RCOM1028Le		×	×	
24				取引相手情報の利用者番号が9桁かつ半角英数字であること。	エラー	RCOM1027Le		×	(注5)	
25				取引相手情報の金融機関コードが指定されていること。	エラー	RCOM1028Le				
26		金融機関コード	被仕向銀行番号	取引相手情報の金融機関コードが4桁かつ半角数字であること。	エラー	RCOM1027Le			(注6)	
27				取引相手情報の支店コードが指定されていること。	エラー	RCOM1028Le				
28				取引相手情報の支店コードが3桁かつ半角数字であること。	エラー	RCOM1027Le			(注7)	
29		支店コード	被仕向支店番号	取引相手情報の支店コードが存在すること。	エラー	RCOM1033Se				
30				取引相手情報の口座種別が指定されていること。	エラー	RCOM1028Le				
31				取引相手情報の口座種別が1桁かつ半角数字であること。	エラー	RCOM1027Le				
32		預金種目	預金種目	取引相手情報の口座種別が普通“1”または当座“2”またはその他(別段)“9”であること。	エラー	RCOM1027Le				
33				取引相手情報の口座番号が指定されていること。	エラー	RCOM1028Le				
34				取引相手情報の口座番号が7桁かつ半角数字であること。	エラー	RCOM1027Le			(注8)	
35		口座番号	口座番号	取引相手情報の取引登録名が全角文字60桁以内であること。	エラー	RCOM1027Le	×	×		
36				債権金額が指定されていること。	正常(ワーニング有)	RCOM1024Li	(注10)	(注10)	×	
37				債権金額が10桁かつ半角数字であること。	正常(ワーニング有)	RCOM1024Li	(注10)	(注10)	(注11)	
38		取引先グループ		債権金額が10,000円以上であること。	正常(ワーニング有)	RCOM1024Li	(注10)	(注10)	(注17)	
39				取引先グループID1から取引先グループID20が“null”または1桁の半角数字であること。	正常(ワーニング有)	RCOM1031Li	×	×		
40				取引先グループID1から取引先グループID20が“null”または非所属“0”または所属“1”であること。	正常(ワーニング有)	RCOM1031Li	×	×		
41		取引先所属グループ		指定した取引先グループが利用中であること。(注12)	正常(ワーニング有)	RCOM1025Li	×	×		
42				指定した取引先グループに登録する取引先の件数が500件以内であること。	正常(ワーニング有)	RCOM1026Li				

表 付録 - 4 取引先情報のファイル登録のチェック仕様詳細 (3 / 3)

項番	チェック対象	チェック条件	チェックがNGとなった場合のエラー種別（登録状況）	エラーコード	アップロードファイル形式毎のチェック要否			取引先の金融機関ならびに登録状況に応じたチェック要否			
					集信1形式	総合振込形式	CSV形式	自行	他行	同一の取引先情報の登録有り	同一の取引先情報の登録無し
42-1	データレコード（続き）	手数料負担区分	手数料負担区分が“null”または1桁の半角数字であること。	エラー	RCOM1027Le	×	×				
42-2			手数料負担区分が“null”または当方負担“1”または先方負担（登録済み金額）“2”または先方負担（指定金額）“3”であること。	エラー	RCOM1027Le	×	×				
42-3		指定金額	指定金額が指定されていること。	エラー	RCOM1028Le	×	×	(注20)			
42-4			指定金額が4桁以下かつ半角数字であること。	エラー	RCOM1027Le	×	×	(注20)			
43		口座情報（重複・既登録）	ファイル内に同一の口座情報（金融機関コード、支店コード、口座種別、口座番号）が存在しないこと。（注13）	エラー	RCOM1029Le						
44			「ファイル登録を行った企業の既登録の取引先情報」の中に、同一の口座情報（金融機関コード、支店コード、口座種別、口座番号）が存在しないこと。（注14）	エラー	KCMN1065Le	(注15)	(注15)	(注15)			
44-1			ファイル内に同一の口座情報（金融機関コード、支店コード、口座種別、口座番号）が存在しないこと。（注18）	エラー	RCOM1029Le	(注19)	(注19)	(注19)			
44-2			「ファイル登録を行った企業の既登録の取引先情報」の中に、同一の口座情報（金融機関コード、支店コード、口座種別、口座番号）が存在しないこと。（注14）	エラー	KCMN1065Le	(注19)	(注19)	(注19)			
45		口座情報（存在確認）	【取引先情報の金融機関が「自行分」の場合】 「DENTRANS内の利用者情報（口座情報）」への口座確認で、口座情報（金融機関コード、支店コード、口座種別、口座番号）が確認できること。（注14）	エラー	KCMN1013Se				×	×	
46			【取引先情報の金融機関が「他行分」の場合】 「ファイル登録を行った企業の既登録の取引先情報」への口座確認で、口座情報（金融機関コード、支店コード、口座種別、口座番号）が確認できること。（注14）	口座未確認	-						
47		口座情報（利用者番号の組合せ）	【取引先情報の金融機関が「自行分」の場合】 「DENTRANS内の利用者情報（口座情報）」への口座確認で、口座が一致した取引先情報に対して、利用者番号が一致すること。（注16）	エラー	RCOM1030Le		×		×	×	×
48			【取引先情報の金融機関が「他行分」の場合】 「ファイル登録を行った企業の既登録の取引先情報」への口座確認で、口座が一致した取引先情報に対して、利用者番号が一致すること。（注16） また、候補の取引先情報が複数該当する場合は、登録順が最も若い（直近で登録したもの）の、取引先情報の利用者番号との一致を試みる。	エラー	RCOM1030Le		×		×		×

(注 1)	CSV形式については、「レコードの項目数が一致していること」、「カンマ区切り」、「改行はCR、LF、CR+LFのいずれか」をチェックする。(ダブルクォーテーションの有無は任意とする。) 「レコードの項目数が一致していること」については、「取引先情報のグループ管理機能」の利用有無に関わらず、項目数33、カンマ数32のチェックを行う。 金融機関オプション「先方負担手数料機能の利用有無」が「利用する」の場合は、項目数33～84、カンマ数32～83のチェックを行う。(手数料(項番34)以降のフィールドの省略を可能とする。) また、CSV形式のファイルフォーマットの、取引先グループID01～ID20(項番14～33)については、未設定も許容し、値の設定がない場合は、「0:非所属」として取り扱う。
(注 2)	取引先情報ファイル登録画面で指定した登録方法により、チェック対象の件数が異なる。 登録方法：追加のみ [既登録件数 + ファイルのレコード件数] で20,000件を超えた場合はエラーとする。 登録方法：全取引先を削除し追加 [ファイルのレコード件数] で20,000件を超えた場合はエラーとする。
(注 3)	総合振込形式の場合は、「コード区分」を対象に、本チェックを行う。
(注 4)	CSV形式については、文字コード区分の項目が存在しないため、チェック対象外である。 なお、CSV形式は Shift_JISのみ許容する。
(注 5)	CSV形式については、利用者番号の設定は任意であるため、値が設定されている場合のみ「1桁以上、9桁以内」、「半角英数字」であることをチェックする。 また、利用者番号が9桁に満たない場合は、前ゼロを補完して登録する。
(注 6)	金融機関コードの値が「1桁以上、4桁以内」、「半角数字」であることをチェックする。 また、金融機関コードが4桁に満たない場合は、前ゼロを補完して登録する。
(注 7)	支店コードの値が「1桁以上、3桁以内」、「半角数字」であることをチェックする。 また、支店コードが3桁に満たない場合は、前ゼロを補完して登録する。
(注 8)	口座番号の値が「1桁以上、7桁以内」、「半角数字」であることをチェックする。 また、口座番号が7桁に満たない場合は、前ゼロを補完して登録する。
(注 9)	取引先情報ファイル登録画面の「ファイル中の金額を債権金額として登録」をチェックした場合、ファイル毎に、以下のとおり債権金額として利用する。 集信1形式の場合 : 債権金額 総合振込形式の場合 : 振込金額 なお、ファイルに設定されている金額が、0～9,999円の場合は、登録債権金額を利用しない。
(注 10)	取引先情報ファイル登録画面の「ファイル中の金額を債権金額として登録」をチェックした場合に、本チェックを行う。
(注 11)	CSV形式については、債権金額の値が「1桁以上、10桁以内」であることをチェックする。
(注 12)	未使用の取引先グループを指定していた場合でもエラーとせず、チェックならびに登録処理を継続する。 その場合、未使用的取引先グループが指定されていたことを、ワーニングとして還元する。
(注 13)	同一の口座情報がファイル内に複数存在した場合の挙動は以下の通り。 若いレコードのみ正常とする。 上記以外の場合、同一口座情報となるレコードを全てエラーとする。
(注 14)	同一の口座情報の存在有無の確認には、ファイル中の「金融機関コード、支店コード、口座種別、口座番号」を用いることとし、「利用者番号」は含めない。
(注 15)	取引先情報ファイル登録画面の登録方法で「全取引先を削除し追加」を選択された場合は、本チェックは行わない。
(注 16)	CSV形式については、利用者番号の設定は任意であるため、値が設定されている場合のみ、本チェックを行う。
(注 17)	CSV形式については、債権金額の値が「0」の場合のみ正常とする。
(注 18)	同一の口座情報がファイル内に複数存在した場合は、レコード順が一番若いレコードのみ正常とする。
(注 19)	取引先情報ファイル登録画面の取引先情報重複登録可否チェックボックスにチェックが有の場合のみ、本チェックを行う。 重複登録を許容しない
(注 20)	手数料負担区分が先方負担(指定金額)“3”の場合のみ、本チェックを行う。